

審議会名	大阪府環境影響評価審査会		委員数 (定数)	15人 (20人)
氏名	職名	選任理由	備考	
相原 嘉之	奈良大学文学部准教授	文化財学の専門家であり、文化財の保存に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。		
赤尾 聡史	同志社大学理工学部准教授	廃水処理・廃棄物処理の専門家であり、廃棄物の資源化・エネルギー回収に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。		
内井 喜美子	大阪大谷大学薬学部助教	陸水生態学の専門家であり、環境DNA分析による外来種分布や河川等における生物多様性に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
内田 敬	大阪市立大学大学院工学研究科教授	交通計画の専門家であり、交通流シミュレーションや情報通信技術を用いた交通需要分析に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
勝見 武	京都大学大学院地球環境学学長（教授）	環境地盤工学の専門家であり、土壌・地下水汚染や地盤環境のほか、社会基盤整備の観点から地球環境保全に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
小谷 真理	同志社大学政策学部准教授	行政法・環境法の専門家であり、環境保護行政に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
嶋寺 光	大阪大学大学院工学研究科准教授	大気環境学の専門家であり、気象・大気質シミュレーションに関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。		
高田 みちよ	高槻市立自然博物館主任学芸員	鳥類と保全生態学の専門家であり、鳥類のほか爬虫類や両生類、淡水魚等に関する調査・研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
高橋 大武	近畿職業能力開発大学校校長 (京都大学名誉教授)	音響学の専門家であり、騒音制御に関する研究活動等の実績があり、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。		
西野 貴子	大阪府立大学大学院理学系研究科助教	植物分類学の専門家であり、植物の遺伝メカニズムや生物多様性に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任		
西村 文武	京都大学大学院工学研究科准教授	水環境工学の専門家であり、水質汚濁機構や処理技術に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
藤長 愛一郎	大阪産業大学工学部教授	環境リスク工学の専門家であり、水環境、土壌・地下水、有害物質のリスク評価に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
水谷 聡	大阪市立大学大学院工学研究科准教授	廃棄物管理工学の専門家であり、廃棄物の適正処理とリサイクルに伴う環境影響評価に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
道岡 武信	近畿大学理工学部教授	流体工学の専門家であり、大気拡散シミュレーションや乱流構造、熱・物質の詳細な挙動の解明および数値モデルの開発に関する研究活動等を行っており、他に得がたい知識・経験を有する者であることから選任。	再任	
若本 和仁	大阪大学大学院工学研究科准教授	建築計画・都市計画の専門家であり、都市デザインに関して豊富な知識・経験を有する者であることから選任。		